

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679600082
法人名	医療法人 沖縄徳洲会
事業所名	グループホーム ゆんぬ
所在地	鹿児島県大島郡与論町茶花302番地5 電話 0997-81-3919
自己評価作成日	平成23年3月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年3月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

商店街から少し離れ、道路からも少し離れているため、静かな場所に位置している。近くには小学校があり、行事の際は歩いて見学にいける場所にある。環境的には大変恵まれている。島の人々はほとんど顔見知りで、親戚関係も多く、家族的な雰囲気がある。この地域性を生かし、地域の行事、学校の行事に積極的に参加、見学をし、事業所の事を広く知ってもらい、気軽に立ち寄っていただき、地域の一員として充実した、楽しい暮らしが出来るような事業所を目指したい。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・地域の行事には、必ず利用者と一緒に参加し、地域住民と一緒に楽しい時間を過ごし、地域との連携を図っている。
- ・日常的に散歩や買い物などで、戸外に出るような支援を行っている。往診ではなく、職員と一緒に受診を支援している。
- ・職員の意見で地域交流を行ったり、利用者に対するケアの方法を統一したりしている。積極的に意見交換を行い、運営やケアに対する職員の意見が出しやすいように工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り時に、「理念の唱和」を行い、再確認し、日々のサービス提供場面において理念が反映されるようにし、特に言葉使いには十分気をつけ、個々の性格や生活歴を尊重したケアが提供出来るように努力している。	理念を目に付く所に貼り、朝の申し送り時に皆で唱和している。日々のサービスの提供場面においては、自分の事は自分でできるよう個々の性格や生活歴を尊重し、理念が反映されるようなケアをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に積極的に参加し、また事業所の行事に地域の方に声かけし、たくさんの方々に参加、協力していただいている。	役場からの情報で、地域の行事へ参加し、地域との交流に力を入れている。運動会や敬老会など家族や職員の家族にも声かけ、地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学校の「総合的な学習の時間」や小学校の「お年寄りの方と交流体験」を受け入れ、人材育成に貢献している。また認知症のキャラバンメイトの活動を行い、認知症の理解をすすめている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回会議を行い、サービス提供の内容を報告し、より質のよいサービスが提供できるよう、アドバイスを受けている。</p>	<p>定期的に運営推進会議を実施し、利用者の状況やサービス内容などを報告している。またケアの質向上に関するアドバイスなどについては職員へ報告し、ミーティングや職員会議で検討して、サービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>書類上の相談等、常に町職員と気軽に相談できる関係にあり、アドバイスを受けながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>町の担当職員とは、常に連携を図り、アドバイスを受けている。また職員もよくホームに立ち寄り、文書や情報を提供している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止の勉強会を毎年行い、利用者の動きに常に気配り、目配りしながら拘束を行わない方向で職員共通認識をはかっている。また夜間のみ施錠を行っている。</p>	<p>連携する医療機関の身体拘束廃止の勉強会に参加して、内容を職員共通の認識として、業務に取り組んでいる。また玄関の施錠は日中はしていない。自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止について勉強会を行い、言葉による虐待には特に気をつけ、自尊心を傷つけないようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	離島という環境的要因のため、島外で行われる研修会への参加は少ないが、他の事業所より資料をもらい、権利擁護に関する制度の勉強会を行い、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、重要事項説明書や契約の内容を納得のいくまで説明し、安心して利用出来るようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	個別に面談し、職員の接し方や要望、意見等を問い、申し送りやミーティングで話し合い、運営に反映させている。	支援の中で利用者からの要望を把握したり、面会時に家族の意見を聞いたりしている。またアンケートを実施し、要望や意見を把握し、運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	母体病院と当事業所との運営会議が月1回あり、事業所の現状等を報告し、アドバイス受け、また随時ミーティングを開き、職員が働きやすく、利用者が居心地のよい生活が出来るよう、意見、提案を聞いている。	ミーティングを開催し、職員からの意見や要望を聞いている。母体医療機関と合同の運営会議が毎月あり、事業所の現状を報告するとともに、業務内容の変更などについても、職員の意見を反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人規程により給与改定をおこなっている。互助会の行事等にも積極的に協力し、職場の環境を良くするよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>介護福祉士等の資格取得のため、勤務時間、人員の配置で学習時間の確保をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>離島のため同業者は無いが、今回はじめて沖永良部島の施設と「施設間体験交流」を行い、お互いの業務を体験し、意見交換を行い、質の向上に役立った。</p>		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>心身の状態がよく把握出来るよう思いや要望等をよく聴き、安心して生活出来るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までの生活暦をよく把握し、ご家族の困っていること、要望等をよく聴き、安心して利用できるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始以前から必要とする支援をよく把握し、開始する段階にその時必要としている事を職員全員把握するようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活暦をよく把握し、今までの経験から知り得た知恵などを教えてもらい、お互い支え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の気持ち、本人の気持ちを大切にしながら、家族と共に本人を支える姿勢で接し、気軽に話しやすい雰囲気を作るよう、努力をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで大切にしてきた知人や友人、親戚、家族との関係がとぎれないようご家族と相談しながら、外出、外泊をすすめている。行事の際は馴染みの方々にも連絡し、関係が途切れないようにしている。	盆や正月は家族と過ごしてもらい、ちょっとしたお祝い事にも外出の機会を作り、家族や知人・親戚などの関係が継続するように支援している。地域のイベントなどのふれあいの場での交流が保たれるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶、食事、レクリエーションなど常に職員と一緒にいき、会話を多く引き出し、利用者がお互いをよく知ることによって円満な人間関係が築けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移った方や退所された方に一緒に会いに行ったり、その施設の行事に参加したり当事業所の行事の案内を行ったりしている。また家族の相談を受けたりと長い付き合いをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの暮らし方の希望に添うよう、食事、入浴、昼寝時間等は無理強いせず、本人本意に対応している。自分の希望を言わない利用者に対しては、接する時間を多くし、何をしたいか、してほしいか、きめ細かな観察を行い、メモ等を取りながら、希望に添った暮らしが出来るようにしている。	家族からの聞き取りや利用者に寄り添った支援の中から、思いや意向を把握している。気づいた事は、気づきノートに全て記録して、職員全員で把握し、共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活暦等のアセスメントを十分に行い、また以前入所していた事業所の職員の話聞くなど、本人、家族との会話を多くするようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを大切にしながら、変化していく心身の状態をよく把握し、本人が出来るようになるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の思い、要望を聞き、反映させるようにしている。ミーティングや申し送りで職員全員の意見を聞き、モニタリングを行いながら、介護計画を作成している。	家族や本人の意向をふまえ、職員の意見やアイデアを出し合い、介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを行い、また状態の変化時は、そのつど見直しを行い介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日を通した記録を行い、休みの職員でも前日の様子が把握出来るようにしている。またミーティングや申し送りで日々の変化を話し合い、主治医と連携し、薬のコントロールを行い、実践や介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況、要望に応じて、外出や外泊、見学、島巡り、買い物等の支援を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の各団体（消防署、学校、婦人会）に協力をもらい、交流会や勉強会等を行い、日々の暮らしを変化のある豊かな暮らしが出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の希望するかかりつけ医となっており、時間を問わず相談にのり、細かい指示や薬の変更など随時行い、常に適切な医療が受けられる。	希望に即したかかりつけ医で受診するように支援している。家族には症状の報告や薬の変更などの連絡を随時行っている。またインフルエンザの接種は事業所で接種するなど、常に適切な医療が受けられる体制や病院受診に同行支援などもしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は配置していないが、連携病院から週1回看護師が訪問し、健康チェックや相談に応じてもらい、安心して生活している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時、情報を提供し、病院、家族と連携しながら回復状態を把握し、早期の退院支援に結びつけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、重度化した場合の対応を話し合っている。事業所の出来る範囲を説明し、理解してもらっている。</p>	<p>重度化した場合の対応については入居時や状態変化時に方針を説明し、対応を協議している。医療的処置はできないが、でき得る介護は行っている。職員とも常に話し合い研修等行っている。緊急時の病院との連携もできている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>「AED」の使用方法を定期的に学び、実践力を身につけている。また主治医や看護師から応急手当や初期対応の仕方を学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力の元、火災の際の避難、誘導の仕方、消火器の使用方法等を学んでいる。また緊急連絡網の中に地域の方を配置し、協力を依頼している。</p>	<p>消防署の指導のもと、避難や誘導の仕方・消火器の使用方法など訓練を受けている。また地域住民に協力を依頼し対処している。訓練の後は反省会をして翌年に繋げている。またスプリンクラーの設置がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特に言葉使いに細心の注意を払っている。職員はプライバシーの保護を徹底し、自分が知り得た情報は外部に漏らさないよう徹底している。	プライバシーや個人情報保護について職員の研修会を実施している。特に言葉使いは気づいた時に注意をするようにしている。職員の家族にも利用者の情報は話さないよう注意を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から利用者の立場になって考え、信頼関係を築き上げ、自分の思いや希望が遠慮無く言えるような毎日が送れるよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝時間、レクリエーション参加、入浴、外出、食事時間等、本人の希望を優先し、職員の都合で強制しないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装、つめきり等身だしなみには特に気をつけ、髪は本人の希望で理容、美容室に行き、行事の際は化粧や髪の設定をしておしゃれを楽しめるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備（台拭きや野菜のつくろい、切る、皮むき）を一緒に行い、また食事後の台拭き、皿拭きをしてもらい皆で作り、片付けているという実感をもってもらっている。食事は同じテーブルで職員といっしょに行い、会話を楽しんでいる。	食事の準備や台拭き・野菜の下ごしらえ・食器の片づけなど、一緒に喜んで行っている。またおやつを作り楽しんでいる。食事は職員も家族的雰囲気と一緒に食べながら楽しい食卓にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体重の変化や体調の変化にあわせて、主治医と相談しながら、水分量、食事量を調整している。個々の習慣に合わせた飲み物、食事形態を大事にし、食事が楽しめるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、うがい、歯磨き、を行い自分でできないところだけ手伝い、自分で出来ることが多く行えるようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	体調管理表を記入し、各人の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を行っている。	昼間は、綿パンツを使用し、本人からの訴えでトイレ誘導をしている。布パンツやリハビリパンツ利用者についてはそれぞれ排泄パターンを把握して自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	24時間排尿、排便の状態を記録し、体調管理を行っている。食材は繊維質の多い物を摂り、外出、レクリエーション等の身体を動かす活動を多くし、自然に排便出来るようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望に添った時間、日々に入浴を行っている。夏場は毎日声かけし、なるべく毎日の入浴を心がけている。自分で出来ることは行ってもらい、職員はなるべく手をかけないよう必要最小限度にとどめている。	入浴が楽しめるように希望の時間等に入浴を行っている。夏場は頻繁に声かけをして、できるだけ毎日入浴ができるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、よく休めるよう、日中はレクリエーションや屋外活動で身体を動かし、メリハリのある1日が過ごせるよう配慮している。入眠、起床時間はその人に合わせている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が一人ひとりの服薬の状態を把握できるように薬の説明書を介護記録に綴じ、日々の変化を見ながら、主治医と連携を取り、体調が安定するよう随時薬の変更を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>その人の能力に合わせ、出来ることは積極的にやってもらい、感謝の言葉を述べ、楽しみ事や生き甲斐事が多くなるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望に添って、行きたい場所へ行きたい時間に外出出来るよう勤務変更等を行っている。島の行事や学校行事にはたくさんの利用者が参加出来るよう職員を配置し、希望通り外出出来るようにしている。</p>	<p>日常的に買い物などを一緒に行っている。浜下りとか行事など、希望に添った支援をしている。島の行事や学校の行事にはできるだけ参加している。また医療機関への受診も外出の一つとして捉え、風景を眺めながら外出している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>手元に持っていたい方は本人に任せ、自分で持っている不安という方は事業所で預かり、要求時に渡している。また買い物など声かけし、外出の機会を増やしながら、自分で買う事の楽しさを忘れさせないようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時、電話をつないだり、面会が少ない家族には用事をみつけ話しをする機会をつくるようにしている。また年賀状はなるべく全員出してもらい、家族、知り合いのつながりがきれないようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日当たりや風通しは良く、季節に合わせて玄関や食堂、居間、テーブルに季節を感じる花、装飾品を置くようにしている。月ごとに壁面装飾を利用者全員で行っている。	広い敷地に明るい陽射しと海からの風に恵まれ、共用空間は季節の花などを活け、壁には職員と一緒に作った装飾品を飾っている。壁の手作り作品の張替えも利用者と一緒に行き、居心地よく生活できるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士は和室や交流室、玄関先のベンチなどでゆっくり過ごすことができる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまで使用していたタンス、テーブル飾り物などを自由に持ってきてもらい、居心地よく、落ち着いて過ごせるよう、工夫している。	自宅で使い慣れたタンスやテーブルなどを持ちこみ、お気に入りの写真なども飾り、落ち着いて生活ができるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は段差がなく、廊下にはすべて手すりをつけ、常に環境整備を行い、安全に生活が送れるようにしている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない



60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない